

鐘ヶ江 晴彦教授 履歴・業績

鐘ヶ江 晴彦 教授 履歴・業績

履 歴

[学歴]

- 1971年 3月 東京大学教育学部卒業
- 1971年 4月 東京大学大学院教育学研究科修士課程入学
- 1973年 3月 東京大学大学院教育学研究科修士課程修了 教育学修士取得
- 1973年 4月 東京大学大学院教育学研究科博士課程入学
- 1978年 3月 東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学

[学位]

教育学修士

[職歴]

- 1978年 4月 専修大学法学部非常勤講師（教育社会学担当）
- 1979年 4月 専修大学文学部専任講師（教育社会学，教育原理，基礎演習担当）
- 1982年 4月 専修大学文学部助教授（教育社会学，教育原理，人文特殊講義担当）
- 1988年 4月 専修大学文学部教授（教育社会学，教育原理，哲学・人文特殊講義，哲学・人文演習担当）
- 1992年 9月 カリフォルニア大学サンタクルーズ校客員研究員（長期在外研究員，1993年 9月まで）
- 2001年 4月 専修大学文学部教授（教育社会学，教育原論，人間発達研究概論，人間発達研究概論特殊講義，人間発達研究演習担当）
- 2004年 4月 沖縄大学地域研究所員（国内研究員，2005年 3月まで）
- 2007年 4月 専修大学文学部人文・ジャーナリズム学科教授（生涯学習論，生涯学習調査実習，人権教育論，人文・ジャーナリズム演習，教育社会

学，教育原論担当)

[学内役職歴]

- 1989年6月～1991年5月 教職課程協議会委員長
1992年4月～1994年3月 文学部人文学科長
1998年2月～1999年3月 セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員長

[学会会長，公的役職]

- 1982年2月～1988年1月 武蔵野市社会教育委員
1983年6月～1986年10月 東京都生涯教育懇談会委員
1989年3月～1993年3月 日本解放社会学会会長
2002年5月 部落解放・人権施策確立要求東京実行委員会会長（現在に至る）
2010年6月 東日本部落解放研究所理事長（現在に至る）

業 績

[著書]

- 『コミュニティと教育』（松原治郎・高口明久と共著），学陽書房，1977年10月
『地域の復権』（松原治郎他と共著），学陽書房，1980年1月
『地域と教育』（教育学大全集第9巻 松原治郎と共著），第一法規出版，1981年11月
『現代のエスプリ No.184 地域と教育』（編著）至文堂，1982年10月
『自由の心 学ぶ心をはぐくむ—大学助教授—』，あいうえお館，1984年5月
『被差別の文化・反差別の生きざま』（福岡安則他と共編著），明石書店，1987年5月
『日本の中学生』（千石保・佐藤郡衛と共著），日本放送出版協会，1987年11月
『差別社会と人権侵害』（ホセ・デ・ベラ・飯塚重雄・ハイメ・カスタニエダ・村井吉敬・ピセンテ・M・ボネットと共著），新幹社，1988年6月
『豊な心・たくましく生きる人間』（教育課程と学校運営の改善第4巻（森隆夫他

と共著), ぎょうせい, 1989年3月

『「同和」教育への社会的視座』, 明石書店, 1991年12月

『セクシュアル・ハラスメントはなぜ問題か—現状分析と理論的アプローチ』(広瀬裕子と共編著), 明石書店, 1994年7月

『新版「同和」教育への社会的視座』, 明石書店, 1996年9月

『シリーズ【性を問う】2性差』(編著), 専修大学出版局, 1997年6月

『外国人労働者の人権と地域社会—日本の現状と市民の意識・活動』(編著), 明石書店, 2001年8月

『辺野古・新海上基地建設反対運動の特質と参加者のライフヒストリー』(編著), 専修大学文学部鐘ヶ江研究室(科研費による印刷), 2011年3月

[編纂書論文]

「青年の社会意識と社会運動」松原治郎・岡堂哲雄編『現代のエスプリ別冊—青年2意識と行動』, 至文堂, 1997年9月

「学校教育と地域生涯学生」松原治朗編『地域社会における生涯学習の展開』, 総合研究開発機構, 1997年10月

「第2章 上田市教育の地域的特性」「第6章 地域住民学習の組織化」松原治郎・久富善之編『学習社会の成立と教育の再編—長野県上田市』, 東京大学出版会, 1983年1月

「現代教育の課題と展開」村井実編『人間の教育とその原理—現代教育の展開—』, 川島書店, 1983年3月

「マスコミ人の部落問題への態度」磯村英一・福岡安則編『マスコミと差別語問題』, 明石書店, 1983年6月

「地域社会における「同和」教育と差別意識」磯村英一編『同和行政論Ⅲ』, 明石書店, 1983年12月

「教育・文化」福武直・小山路男編『高齢社会への社会的対応』, 日本生命財団, 1985年5月

「社会教育としての「同和」教育」江嶋修作編『社会「同和」教育変革期』, 明石書店, 1985年6月

- 「統計的調査の方法」松原治郎編『教育調査法』, 有斐閣, 1985年8月
- 「新人類と偏差値」扇谷小正編『新人類がやってきた!』, PHP 研究所, 1987年7月
- 「現代中国の幼稚園と母親の職業・家庭生活」斎藤秋男他編『教育の中の民族—日本と中国』, 明石書店, 1988年4月
- 「人生80年時代の生涯教育」森隆夫編『新生涯教育読本』, 教育開発研究所, 1991年6月
- 「いじめの実態と生徒の意識」森島吉美編『「異」の排除と知の体系』, 広島修道大学総合研究所, 1992年2月
- 「日本におけるセクシュアル・ハラスメントの現状」八代充史他編『女性社員の職力化とその実際』, 技術情報協会, 1992年11月
- 「部落差別の現状とキリスト教の課題」木田猷一編『人権とキリスト教』, 教文館, 1993年3月
- 「反差別の文化をどう創るか」中村紘三監修『解放教育のアイデンティティ』, 明治図書, 1997年3月
- 「新・地域社会学校の展望」明石要一編『新・地域社会学校論—完全学校5日制の中で』, ぎょうせい, 1998年2月
- “Schooling of Buraku Women: Life Histories in Eastern Japan” June A. Gordon etc. eds. *Challenges To Japanese Education: Economics, Reform, and Human Rights*, Teachers College Columbia University, New York, 2010

[学術誌等論文]

- 「なぜ非行なのか—最近の子どもたちの逸脱行為から」『月刊 生徒指導』第三巻第八号, 学事出版, 1973年8月
- 「成人の政治的社会化に関する一考察—住民運動の分析をとおして」, 『教育社会研究』第30集, 日本教育社会学会, 1975年10月
- 「住民運動の実証的研究—運動参加者の分析を中心として (上)」(共著・第一著者)『東京大学教育学部紀要』第15巻, 東京大学教育学部, 1976年3月
- 「高速道をめぐる住民運動と環境問題」『環境文化研究』No. 22, 財団法人環境文

化研究, 1976年6月

「武蔵野市における生涯教育プラン」『月刊社会教育』昭和51年10月号, 全日本社会教育連合会, 1976年10月

「住民運動の実証的研究—運動参加者の分析を中心として(下)」(共著・第一著者)『東京大学教育学部紀要』第16巻, 東京大学教育学部, 1977年3月

「パーソナリティの発達過程に関する社会学的一考察」『教育学論集』第5号, 専修大学文学部教育学研究室, 1980年7月

「生涯学習・生涯教育の理念と課題」『自治研究』266号, 第一法規出版, 1982年7月

「地域社会における「同和」教育と差別意識—長野県上田市塩田地区を事例として—」『社会科学年報』第17号, 専修大学社会科学研究所, 1983年3月

「マスコミ人における「差別用語」問題」『解放教育』No.166, 明治図書, 1983年6月

「わが国における地域学習社会の形成」, 『社会教育』第38巻6号, 全日本社会教育連合会, 1983年6月

「住民意識と社会「同和」教育—上田市西部・塩尻地区調査から—」, 『社会科学年報』第19号, 専修大学社会科学研究所, 1985年3月

「教育をめぐる平等と異質性」『現代社会学』22, アカデミア出版, 1987年12月

「現代大学生の「差別意識」をめぐる社会学的一研究—全国学生意識調査から—
(1)」『専修大学人文科学研究所月報』117号, 専修大学人文科学研究所, 1987年5月

「現代大学生の「差別意識」をめぐる社会学的一研究—全国学生意識調査から—
(2)」『専修大学人文科学研究所月報』119号, 専修大学人文科学研究所, 1987年9月

「現代大学生の「差別意識」をめぐる社会学的一研究—全国学生意識調査から—
(1)」『専修大学人文科学研究所月報』201号, 専修大学人文科学研究所, 1987年11月

「教育の平等と解放の学力」『人文科学年報第』18号, 専修大学人文科学研究所, 1988年3月

- 「口述の部落史／桐生編」（福岡安則他と共著）『解放研究』第2号，東日本部落解放研究所，1988年6月
- 「山梨県下の部落差別—口述の部落史から—」『解放研究』第3号，東日本部落解放研究所，1989年6月
- 「むなしさとささやかな成果」『部落解放』第298号，解放出版社，1989年9月
- 「解放の言葉—セクシュアル・ハラスメント」『解放社会学研究』4，日本解放社会学会，1990年3月
- 「信州の「同和」教育の問題と課題」『信濃教育』第1254号，信濃教育会，1991年5月
- 「現代大学生の部落差別意識の一側面」『解放社会学研究』5，日本解放社会学会，1991年6月
- 「部落差別の歴史と現状—キリスト教の課題を考えるために」『福音と社会』vol. 1, XXI，農村伝道神学校，1992年1月
- 「アメリカの「人種問題」雑感」『解放社会学研究』7，日本解放社会学会，1993年3月
- 「アメリカにおけるマイノリティ研究の推移」『現文研』第71号，専修大学現代文化研究会，1993年3月
- 「「同和」教育と人権」『教育学研究』第62巻第3号，日本教育学会，1995年9月
- 「東京都「企業同和问题研修推進員実体調査」が示すもの」『すいへい・東京』第9号，東京部落解放研究所，1998年2月
- 「キャンパス・セクシャルハラスメントの実態—女子学生に対するアンケート調査の分析から—」『解放社会学研究』14，日本解放社会学会，2000年3月
- 「東京都「人権に関する世論調査」の問題点」『すいへい・東京』第13号，東京解放研究所，2000年2月
- 「在米日系企業とアメリカ進出日本企業における雇用管理の実態—人権問題への対応を中心に—」『現文研』第77号，専修大学現代文化研究会，2001年3月
- 「被差別部落出身女性たちの学校体験—東日本におけるライフヒストリー調査」『現文研』第80号，専修大学現代文化研究会，2002年3月
- 「辺野古沖海上基地建設反対運動の経過と特質」『社会科学年報』第41号，専修大

学社会科学研究所，2007年3月

「[恨之碑] 建立と「すすめる会沖縄」の活動—沖縄の人権・平和運動の一事例—」

『明日を拓く』69・70号，東日本部落解放研究所，2007年3月

「命を守る会代表・金城祐治さんのライフヒストリー」（服部あさこと共著）『専

修社会学』第20号，専修大学社会学会，2008年3月

「[普天間基地移設] 問題の経緯と本質」『明日を拓く』82・83号，東日本部落解

放研究所，

2009年12月

「飯田市の公民館システム」『専修大学社会科学研究所月報』No. 611-612，専修

大学社会科学研究所，2014年6月

「戦後の沖縄における琉球・沖縄独立論と沖縄差別論」『明日を拓く』108号，東

日本部落解放研究所，2015年2月